第 23 回

神奈川臨床甲状腺研究会

日　　時：2025 年 7 月 23 日(水) 19:00~20:40

開催形式：ハイブリッド形式

現地会場：崎陽軒本店

Web 開催：ZOOM 配信

第 23 回当番世話人：國井　葉　先生

（昭和医科大学横浜市北部病院　甲状腺センター）

共催：神奈川臨床甲状腺研究会

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社/富士フイルム和光純薬株式会社

プログラム

学術講演 19:00～19:10

製品 information　ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社/富士フイルム和光純薬株式会社

一般公演　19:10～19:40

座長：野口　靖志（医療法人野口病院）

講演 10 分・質疑 5 分

一般公演１　19:10～19:25

①　亜急性甲状腺炎の経過中に Basedow 病と診断された 1 例

杉山　美奈子

昭和医科大学藤が丘病院　内科（糖尿病・代謝・内分泌）

一般公演２　19:25～19:40

②　テプロツブマブを投与した甲状腺眼症の 2 例

木崎　順一郎 [1) 2)]

1）　昭和医科大学医学部眼科学講座
2）　木崎眼科

特別講演　19:40～20:40

座長：國井　葉（昭和医科大学横浜市北部病院　甲状腺センター）

TRAb と TSAb の効率的でより臨床的に意義のある検査方法

演者：上條　桂一（上條甲状腺クリニック）

一般講演１

亜急性甲状腺炎の経過中に Basedow 病と診断された 1 例

杉山　美奈子，大塚　史子，今井　秀之，橋詰　真衣，杉澤　千穂，田所　梨枝，飯坂　徹，長坂　昌一郎

昭和医科大学藤が丘病院　内科（糖尿病・代謝・内分泌）

【症例】42 歳女性.

【現病歴】36 歳時（X-5 年 7 月）に甲状腺腫大を指摘され，腺腫様甲状腺腫として当院で定期検査を行っていた．経過中，甲状腺機能異常は指摘されていなかった．X 年 5 月，急性胃腸炎後に頸部痛・動悸が出現し受診した．甲状腺右葉に 10 mm，左葉に 20 mm の圧痛を伴う硬結を認め ，FT3 8.11 pg/mL，FT4 2.97 ng/dL，TSH 0.005 μIU/mL 未満と甲状腺中毒症を認めた．CRP は 0.67 mg/dL と軽度高値であった．TRAb は 5.4 IU/L と陽性であったが，超音波検査にて両葉の疼痛部位に一致する低エコー領域を認めており，亜急性甲状腺炎と診断した．プレドニゾロン（PSL）15 mg/日を開始したところ，頸部痛は軽快し PSL 10 mg/日 に減量したが，FT3 22.97 pg/mL，FT4 6.33 ng/dL，TSH 0.005 μIU/mL 未満と改善は乏しく，TRAb は 20.9 IU/L まで上昇した． X 年 8 月 ^{123}I 甲状腺シンチグラフィを実施したところ，24 時間放射性ヨウ素摂取率が 61.45 %と高値，びまん性に集積を認め，Basedow 病と診断し，チアマゾール 15 mg＋ヨウ化カリウム 50 mg/日を追加した．経過は良好であり，内服は漸減，チアマゾール 5 mg/日を継続している．

【考察】亜急性甲状腺炎の経過中に Basedow 病と診断された 1 例を経験した．亜急性甲状腺炎による炎症が自己免疫応答の活性化を促し，Basedow 病の発症に至った可能性が考えられる．ただし，本症例では亜急性甲状腺炎の発症以前に TRAb の測定は行われておらず，その推移は不明である．そのため，同時発症した可能性に加えて Basedow 病が先行していた可能性も否定できない．両疾患の併発は稀であるが，甲状腺中毒症の遷延ないし TRAb 陽性の症例では，背景に Basedow 病がある可能性や，今後発症に至る可能性があることを考慮する必要がある．

一般講演２

テプロツブマブを投与した甲状腺眼症の 2 例

○木崎順一郎[1) 2)] 遠藤貴美[1) 3)] 加藤大智[1)] 福岡聖也[1)] 恩田秀寿[1)]

1） 昭和医科大学医学部眼科学講座
2） 木崎眼科
3） 昭和医科大学横浜市北部病院

【緒言】甲状腺眼症は、甲状腺自己抗体を介する眼窩組織の自己免疫疾患である。治療は従来、副腎皮質ステロイドの局所または全身投与によるが、治療抵抗例もしばしばみられる。テプロツムマブ（Teprotumumab: TEP）は、インスリン様成長因子 1 受容体(IGF-1R)を阻害し、眼窩線維芽細胞の働きを抑制することで甲状腺眼症の症状改善に有効性が示されており、2024 年に本邦でも保険収載が可能となった。今回我々は、既存治療に抵抗性であった甲状腺眼症の 2 例に TEP を導入した。甲状腺眼症における眼科的な診療の要点とともに、その治療経過を報告する。
【症例】症例 1 は 85 歳女性。ステロイドパルスと放射線療法を行い、一旦は寛解に至るも、再燃がみられ、右眼圧迫性視神経症も併発したため、症状出現から 13 ヶ月で TEP を導入し、計 4 回投与を行ったが、因果関係の不明なぶどう膜炎の併発があり、投与を中止した。MRI で外眼筋の縮小がみられ、視神経症も改善を得たが、眼球運動の改善は限定的であった。
症例 2 は 48 歳男性、喫煙者。ステロイドパルスを行うも、禁煙が困難であったこともあり、治療抵抗性であったため症状出現から 6 ヶ月で TEP を導入、計 8 回投与した。MRI 所見の改善がみられたが、眼球運動の改善は限定的であった。
【結論】2 例とも TEP 投与で MRI 所見は著明に改善したが、眼球運動障害は残存がみられた。

特別講演

TRAb と TSAb の効率的でより臨床的に意義のある検査方法

上條桂一
上條甲状腺クリニック

TRAb および TSAb の長所・短所を考慮に入れ、TRAb と TSAb の相補性の視点から適切な臨床応用について講演する。TSAb は未治療 Graves' disease(GD)153 例中 151 例 98.7%で陽性を示すので、陰性の場合は GD を除外できる。無痛性甲状腺炎(PT)の TSAb 陽性率は、GD から発症 PT23.0%は橋本病から発症 PT4.1%より有意(p=0.0002)に高いことに留意する。**1.TRAb seronegative GD:** 未治療 GD 2,048 例中 TRAb 陰性は 94 例(4.6%)である。今回対象とした TRAb 陰性(0.6～2.0IU/L)GD は 11 例で、全例 Tc-99m uptake は高値(1.52%～7.73%)。TSAb は全例陽性(117%～1,705%)を示したことから、GD が TSH 受容体抗体疾患であることが証明できた。なお、同時に測定した TSAb(EIA)および vascularity index (50%≧)はいずれも 6 例で陽性。**2.TRAb gray-zone positive (TRAb <2.0～≦3.0IU/L)**：GD で KI 治療中発症 KI-induced PT では、34 例中 4 例で TRAb 値が gray-zone positive を示した。発症前 TRAb 陰性で PT 発症時陽性化した症例で、TSAb 値が陰性の結果から PT と診断。**3. Gestational Transient Thyrotoxicosis(GTT)**: ｈCG 値が 150,000mIU/mL を超えた 2 例で TSAb 値が false positive を示した。GD 例で MMI 中止後妊娠し甲状腺中毒症出現、TRAb 陽性化するも TSAb 陰性の結果から GTT と診断。**4. TSAb と Thyroid Bloking Ab(TBAb)共存例:** 症例は 20 歳女性、他院で PTU 投与 10 週後に甲状腺機能低下症(hypo)となり紹介される。その時点での診断は TBAb による hypo。LT4 100μg/日投与中 28 歳で妊娠。妊娠初期は TBAb 97.2%(N, <35%), TSAb 10,693%と両者高値の hypo で LT4 継続。妊娠途中から徐々に TSAb 上昇(unexpected rise)し、妊娠 28 週で TSAb 26,629%, TBAb 98.3%で GD 発症し MMI15mg/日投与開始。Euthyroid を維持したが、児は新生児 GD 発症。5.予後判定指標としての TSAb の有用性について検討中の preliminary data を報告する。

神奈川臨床甲状腺研究会　演題一覧				
第 1 回	2013 年 10 月 31 日	甲状腺疾患のプライマリーケア	座長	川崎幸クリニック 副院長　九島健二　先生
			演者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授　谷山松雄　先生
		甲状腺疾患と無機ヨード	座長	東海大学医学部付属病院　腎内分泌代謝内科 准教授　佐藤温洋　先生
			演者	医療法人社団　白寿会　田名病院 院長　阿部好文　先生
第 2 回	2014 年 7 月 10 日	甲状腺疾患に対する超音波診断 Up to date	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 講師　大塚史子　先生
			演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授　福成信博　先生
		ケースカンファレンス	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授　谷山松雄　先生
			演者	川崎幸クリニック 副院長　九島健二　先生
		甲状腺癌の基礎知識	座長	横浜関内わだクリニック 院長　和田修幸　先生
			演者	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科 部長　吉田明　先生
第 3 回	2015 年 3 月 5 日	ケースカンファレンス	座長	横浜関内わだクリニック 院長　和田修幸　先生
		難治性バセドウ病に対する術前コントロール	発表者	昭和大学横浜市北部病院 外科 助教　玉置秀司　先生
		甲状腺疾患合併妊娠の症例	発表者	長谷川内科クリニック 院長　長谷川眞　先生
		妊娠と甲状腺について	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授　谷山松雄　先生
			演者	国立成育医療研究センター 周産期診療部 母性内科 荒田尚子　先生
第 4 回	2016 年 1 月 23 日	ケースカンファレンス	座長	横浜関内わだクリニック 院長　和田修幸　先生
		気道感染症を契機に気道閉塞に至った巨大甲状腺を伴う甲状腺亢進症の 1 例	発表者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 講師　佐藤尚太郎　先生
		甲状腺機能低下症の治療	座長	昭和大学横浜市北部病院　外科 教授　福成信博　先生
			演者	東邦大学医療センター大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センター

				客員教授　坪井久美子　先生
第 5 回	2016 年 7 月 13 日	ケースカンファレンス	座長	神奈川県立がんセンター　乳腺甲状腺外科 部長　岩崎博幸　先生
		当科における甲状腺微小癌の治療戦略	発表者	昭和大学横浜市北部病院　外科 講師　西川徹　先生
		Lenvatinib 治療で PR となった甲状腺未分化癌の 1 例	発表者	神奈川県立がんセンター　乳腺甲状腺外科 山崎春彦　先生
		ATA ガイドラインから見た 甲状腺腫瘍癌の取り扱い	座長	昭和大学横浜市北部病院　外科 教授　福成信博　先生
			演者	神奈川県立がんセンター　乳腺甲状腺外科 医長　菅沼信康　先生
第 6 回	2017 年 1 月 18 日	ケースカンファレンス	座長	昭和大学横浜市北部病院　外科 教授　福成信博　先生
		診断が難しかった甲状腺機能亢進症	発表者	昭和大学藤が丘病院　内分泌・代謝科 助教　飯田達也　先生
		甲状腺機能亢進症の薬物治療	座長	長谷川内科クリニック　院長　長谷川眞　先生
			演者	川崎幸クリニック　副院長　九島健二　先生
第 7 回	2017 年 7 月 19 日	ケースカンファレンス	座長	さとう内科クリニック　院長　佐藤尚太郎　先生
		任意型検診で発見される 甲状腺の結節病変の検討 ～PET 検査も含め～	発表者	ゆうあいクリニック診療部 部長　桑田有希子　先生
		腺腫様甲状腺腫に合併した血管腫の一例	発表者	聖マリアンナ医科大学　乳腺・内分泌外科 助教　岩谷胤生　先生
		甲状腺良性結節の臨床	座長	昭和大学横浜市北部病院　外科 講師　西川徹　先生
			演者	伊藤病院　副院長　杉野公則　先生

第 8 回	2018 年 1 月 19 日	ケースカンファレンス・研究発表	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 講師 大塚史子 先生
		MIBI シンチ・甲状腺エコーにて多腺腫大が疑われた原発性副甲状腺機能亢進症の１例	演者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 助教 小泉剛 先生
		赤外線蛍光検出システムを用いた術中副甲状腺検出	演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 講師 西川徹 先生
		原発性副甲状腺機能亢進症：診断と治療	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
			演者	医療法人福甲会 やました甲状腺病院 理事長・院長 山下弘幸 先生
第 9 回	2018 年 7 月 11 日	症例報告	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		当院における放射性ヨード内用療法の現状	演者	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 山﨑春彦 先生
		複数回外来 30mCi RI-ablation を施行した症例の検討	演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 助教 坂上聡志 先生
		バセドウ病のアイソトープ治療	座長	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 部長 岩崎博幸 先生
			演者	野口病院 副院長・統括放射線部長 野口靖志 先生
第 10 回	2019 年 1 月 23 日	ケースカンファレンス	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		妊娠合併バセドウ病患者の 1 例	発表者	横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター 洲之内尭 先生
		当科で経験した妊娠中の甲状腺手術	発表者	昭和大学横浜市北部病院 外科 准教授 福島光浩 先生
		甲状腺疾患と妊娠・出産 up-to-date	座長	横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター センター長 齋藤淳 先生
			演者	東京予防医学協会 内分泌科 部長 百渓尚子 先生

第 11 回	2019 年 7 月 17 日	ケースカンファレンス	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター センター長 福成信博 先生
		チアマゾール内服後 関節炎症を呈した 1 例	発表者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 講師 遠藤慶 先生
		TRAb 陰性の甲状腺機能亢進症に対する SPECT/CT の有用性	発表者	伊藤病院 内科 杉澤千穂 先生
		バセドウ病の薬物治療について	座長	ゆるぎない愛の会中島内科クリニック 副院長 向笠浩司 先生
			演者	伊藤病院 内科 医長 吉原愛 先生
第 12 回	2020 年 1 月 29 日	ケースカンファレンス	座長	横浜市立大学附属病院 乳腺・甲状腺外科 診療講師 中山 博貴 先生
		Dicer1 症候群の一例	発表者	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 菅原 裕子 先生
		West 症候群に生じた甲状腺乳頭癌の一例	発表者	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 佐野 太一 先生
		福島県県民健康調査「甲状腺検査」からみえてきた小児・若年者の結節性甲状腺疾患の実像	座長	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 講師 益戸 功彦 先生
			演者	福島県立医科大学医学部 臨床検査医学講座 主任教授 志村 浩己 先生
第 13 回	2020 年 7 月 8 日 （中止）	症例報告 未決定		
		演題未決定	座長	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 長坂昌一郎 先生
			演者	上條甲状腺クリニック 院長 上條桂一 先生
第 14 回	2021 年 1 月 27 日	症例報告	座長	横浜市立大学病院 外科治療学 講師 菅沼伸康 先生
		甲状腺に直接浸潤のみられた脱分化型脂肪肉腫の 1 例	発表者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 佐々木 栄司 先生
		針生検にて未分化癌を疑い切除した微少浸潤型濾胞癌の 1 例	発表者	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 レジデント 村山大輔 先生
		甲状腺の病理と細胞診、最近の話題	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター外科 准教授 福島光浩 先生
			演者	昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科

				教授　亀山香織　先生
第 15 回	2021 年 7 月 7 日	症例報告	座長	昭和大学藤が丘病院　糖尿病・代謝・内分泌内科 准教授　大塚史子　先生
		バセドウ病加療中に TRAb 高値と甲状腺機能低下を示した症例	発表者	横浜労災病院　内分泌・糖尿病センター 渡邊一樹　先生
		無機ヨードで治療開始後に TSBAb 陽性の甲状腺機能低下症を呈した高齢者 Basedow 病の一例	発表者	昭和大学藤が丘病院　糖尿病・代謝・内分泌内科 講師　黄川恵慈　先生
		TRAb からみたバセドウ病診断と無痛性甲状腺炎の新分類	座長	昭和大学藤が丘病院　糖尿病・代謝・内分泌内科 教授　長坂昌一郎　先生
			演者	上條甲状腺クリニック　院長　上條桂一　先生
第 16 回	2022 年 1 月 19 日	症例報告	座長	横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺　講師　益戸功彦　先生
		膵炎合併高 Ca 血症を伴う副甲状腺癌を ECMO 補助下で切除した 1 例	発表者	平塚共催病院　外科 豊田まどか　先生
		二次性副甲状腺機能亢進症に合併した左副甲状腺癌の 1 例	発表者	横須賀市立うわまち病院　外科 横山亘　先生
		副甲状腺疾患の診断と治療	座長	平塚共済病院　乳腺内分泌外科 部長　中山博貴　先生
			演者	国家公務員共済組合連合会　虎の門病院 副院長　竹内靖博　先生
第 17 回	2022 年 7 月 13 日	症例報告	座長	さとう内科クリニック 院長　佐藤　尚太郎　先生
		炭酸リチウムによる甲状腺機能異常	演者	昭和大学横浜市北部病院　甲状腺センター内科 講師　飯坂　徹　先生
		免疫チェックポイント阻害薬による甲状腺機能異常	演者	みなとみらいクリニック 院長　淡野　宏輔　先生
		免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害　Update	座長	昭和大学横浜市北部病院　甲状腺センター 准教授　國井　葉　先生
			演者	東京大学医学部附属病院　腎臓・内分泌内科 准教授　槙田　紀子　先生

	1月25日			乳腺・甲状腺外科　助教　山﨑　春彦　先生
		当院でのSelpercatinibの使用経験-甲状腺髄様癌(MEN2B)の1例-	発表者	横浜市立大学附属病院　乳腺・甲状腺外科 角谷　芽依　先生
		進行甲状腺癌におけるがん遺伝子検査	発表者	神奈川県立がんセンター　乳腺内分泌外科 戸田　宗治　先生
		遺伝子パネル検査と がんゲノム医療	座長	横浜市立大学　外科治療学 講師　菅沼　伸康　先生
			演者	国立がん研究センター中央病院　臨床検査科 医員　角南　久仁子　先生
第19回	2023年 6月28日	症例報告	座長	神奈川県立がんセンター　内分泌外科 部長　益戸　功彦　先生
		甲状腺穿刺吸引細胞診後の一過性甲状腺腫大の一例	発表者	横浜市立大学附属病院 外科治療学　乳腺•甲状腺外科 船岡　健太郎　先生
		穿刺吸引細胞診による頸部出血で喉頭浮腫を来たし緊急手術を要した1例	発表者	伊藤病院　外科 吉岡　佳奈　先生
		日本乳腺甲状腺超音波医学会による甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門資格の概要と甲状腺穿刺の医療安全	座長	座長　　昭和大学横浜市北部病院　甲状腺センター 准教授　福島　光浩　先生
			演者	福島県立医科大学　医学部　臨床検査医学講座 主任教授　志村　浩己　先生
第20回	2024年1月24日	症例報告	座長	横浜市立大学附属市民総合医療センター　乳腺・甲状腺外科　助教　戸田　宗治　先生
		オンコマインでNTRK融合遺伝子が検出された甲状腺乳頭癌の1例	演者	神奈川県立がんセンター　内分泌外科　角谷　芽依　先生
		当センターにおける甲状腺癌に対する遺伝子パネル検査の現状	演者	昭和大学横浜市北部病院　外科・甲状腺センター　講師　大桑　恵子　先生
		甲状腺結節遺伝子テストの実践的使用 2024	座長	北里大学病院　乳腺・甲状腺外科　准教授　加藤　弘　先生

			演者	Clinical Associate Professor of Medicine,University of Washington 遠藤 麻由美 先生
第 21 回	2024 年 7 月 24 日	症例報告	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター内科 准教授 國井 葉 先生
		サブクリニカル Cushing 症候群術後に亜急性甲状腺炎を繰り返した一例	演者	昭和大学藤が丘病院 内科（糖尿病・代謝・内分泌） 西川 雄人 先生
		甲状腺眼症が顕著であり甲状腺全摘術を施行した Basedow 病の一例	演者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター内科 児玉 恵理子 先生
		甲状腺眼症の治療の現状と新薬に期待すること	座長	昭和大学藤が丘病院 内科（糖尿病・代謝・内分泌） 准教授 大塚 史子 先生
			演者	オリンピア眼科病院 副院長 神前 あい 先生
第 22 回	2025 年 1 月 29 日	症例報告	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科・甲状腺センター 講師 中野 賢英 先生
		若年発症原発性副甲状腺機能亢進症の 2 例	演者	横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 鈴木 智裕 先生
		高 Ca 血症を契機に診断された PTHrP 上昇を伴う甲状腺髄様癌の 1 例	演者	平塚共済病院 外科 廣瀬 拓哉 先生
		MEN の診断と治療	座長	"横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 助教 山﨑 春彦 先生 "
			演者	東京女子医科大学 内分泌外科 准講師 吉田 有策 先生